

# 平成二十一年度

# まちの台所事情

収入は、前年度より  
23.2%増加

平成21年度の決算は、7会計全体の収入で90億9172万円、支出では86億9769万円となりました。前年度と比べて、収入は17億1059万円(23.2%)の増、支出は、15億9260万円(22.4%)の増となりました。これは、国の経済危機対策事業に対応し、大幅な補正予算の編成を行ったことなどによるものです(表1)。

地方交付税、国庫支出金は増加

国から交付される地方交付税交付金は26億9365万円で、一般会計の収入全体の37.0%(図2)を占めています。新たな算定項目の創設などにより、前年度比較で1億1947万円(4.6%)の増額となりました。

町税は6億6819万円で、686万円(1.0%)増加しました。国庫支出金は9億6557万円で、国の地域活性化対策に基づく臨時交付金などにより、7億6504万円(381.5%)増加しました。

町の借金である町債は7億625万円で、中学校校舎改築に伴い2億8650万円を借入したことや、臨時財政対策債の増

により、4億2269万円(149.1%)増加しました。収入全体では、町税や使用料及び手数料といった自主財源よりも国や道に依存する財源の占める割合が大幅に大きくなりました。

## 支出

### ■一般会計

民生費では、高齢者生きがいセンター屋内ゲートボール場の人工芝の張り替えを行い、高齢者の健康づくりに寄与しました。また、義務教育修了までの医療費を助成する子ども医療費医療給付事業を継続して行いました。

衛生費では、マイマイガ駆除対策事業として、公共施設及び周辺の街路灯などに産み付けら

■表1 平成21年度決算総括表

会計	区分	平成21年度	平成20年度	増減率
一般会計	歳入	72億7987万3千円	56億2588万8千円	29.4%
	歳出	69億7533万5千円	54億1759万8千円	28.8%
国保会計	歳入	7億9770万7千円	7億8317万0千円	1.9%
	歳出	7億5432万0千円	7億5802万0千円	△0.5%
水道会計	歳入	2億6990万5千円	2億0242万9千円	33.3%
	歳出	2億6480万8千円	1億9852万9千円	33.4%
老人保健計	歳入	1474万4千円	9285万8千円	△84.1%
	歳出	14万1千円	8271万0千円	△99.8%
後期高齢者医療計	歳入	7187万2千円	6665万2千円	7.8%
	歳出	6958万1千円	6438万1千円	8.1%
下水道計	歳入	2億5926万6千円	2億3041万5千円	12.5%
	歳出	2億5080万3千円	2億2582万8千円	11.1%
介護保険計	歳入	3億9835万1千円	3億7971万9千円	4.9%
	歳出	3億8720万5千円	3億5802万6千円	6.9%
総計	歳入	90億9171万8千円	73億8113万1千円	23.2%
	歳出	86億9769万3千円	71億0509万2千円	22.4%

れた卵塊の除去を行いました。また、新型インフルエンザ対策本部を設置し、流行の蔓延や重症化を防ぐ対策を講じました。

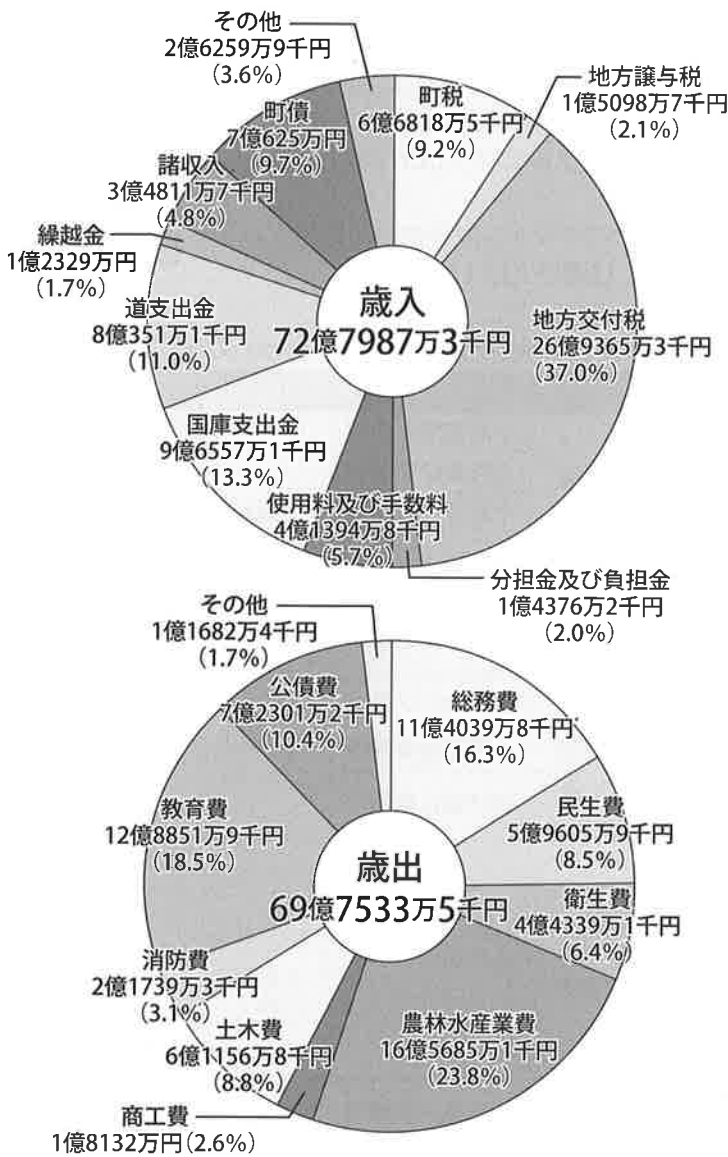
農林水産業費では、農用地等集団化事業(上士幌地区)や土地基盤整備事業、町有林の環境保全整備事業などを実施しました。ナイタイ高原牧場の新基地整備に向けた測量設計を行うとともに、基地水道施設整備工事を実施しました。

商工費では、商工会が行う商店街活性化対策事業に対し補助を実施したほか、商店街にぎわい事業(歳末売り出し)と合わ

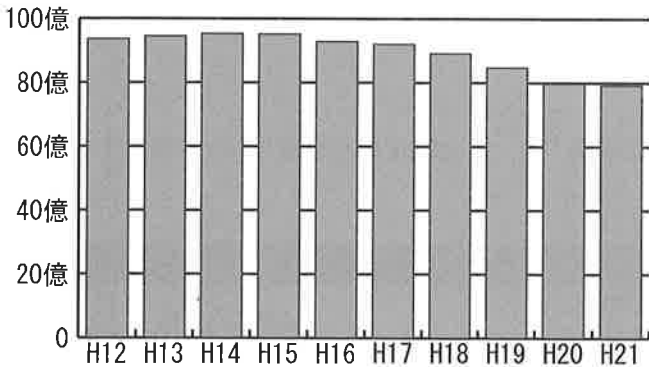
せて実施した生活応援還元セミナー事業に対し、補助を実施しました。また、ぬかびら源泉郷で開催された「全国源泉かけ流しサミット」に補助を実施しました。

土木費では、老朽化で破損した舗装などの再整備により、利用者の安全確保を図りました。町道及び公共施設の除排雪を企業に委託し、良好な交通の確保に努めました。定住促進対策として、民間活力による賃貸住宅の建設に助成し、定住と移住環境の整備促進を図りました。教育費では、魅力ある学校づ

■図2 平成21年度一般会計収支の内訳



■図3 平成21年度末町債(借入金)現在高の推移



■表4 平成21年度末基金(積立金)現在高の状況

基金の名称	平成21年度末現在高	基金設置の目的
財政調整基金	8億3977万4千円	災害や一時的な財源不足等の場合のための財源
減債基金	9億1316万7千円	町の借入金の返済財源
公共施設整備基金	8億5515万5千円	将来の公共施設の整備費用のための財源
土幌線代替輸送確保基金	3億1287万1千円	旧土幌線の代替バスの赤字補てん・購入補助、交通公園等管理経費等
旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋保存基金	2億8471万3千円	旧国鉄土幌線アーチ橋の保存対策及び解体撤去の際の財源
学校教育施設建設基金	1億0009万0千円	学校教育施設の建設費用のための財源
社会福祉基金	1億5541万4千円	援護を要する高齢者及び重度障害者等の福祉対策のための財源
土地開発基金	1億0687万2千円	将来の公共施設用地の取得基金
その他(9基金)	2億6679万6千円	
合計	38億3485万2千円	

くにに取り組む上土幌高等学校振興会に補助を実施しました。小学校費では、上土幌小学校屋内運動場の耐震改修工事を行い、児童の安全・安心の確保を図りました。中学校費では、中学校校舎改築工事を実施し、合わせて老朽化した備品の更新を実施しました。

■特別会計  
特別会計は、国民健康保険・水道・老人保健・後期高齢者・下水道・介護保険の6事業で、決算状況は決算総括表(表1)のとおりとなっています。

このうち水道事業について

は、安定した給水に向け、東部地区配水池増設工事、配水管更新工事、井戸掘削工事などを実施しました。

町が公施設の建設や道路・下水道などの整備のため、国などから借りている借入金(図3)の平成21年度末現在高は、79億2713万円で前年比513.6万円の減となりました(図3)。新たな借入金を極力抑制していることから、借入金高は、

**借入金総額約79億円  
借入金残高は年々減少**

総額が減少しました。

貯金総額約38億円

将来の町づくりのために積み立てている積立金の残高は17基金合計で38億3485万円となつていきます(表4)。このうち社会福祉など特定の目的のための基金を除く、災害復旧や公共施設整備のための基金(財政調整基金・公共施設整備基金)は、16億9493万円で前年比1億1527万円増加しました。

※詳しいお問い合わせは、企画財政課財政担当(内線261)青木・梶まで

※平成21年度に  
町民1人あたりに使ったお金 **166万5千円**  
(135万8千円)  
町民1人あたりの町税負担額 **12万8千円**  
(12万6千円)  
※計算基礎人口 5,225人(平成22年3月末現在)